

2016年度人権・平和教育 理論研修会

- 研修会テーマ 「私たちの主権者教育」
- 開催期日 平成28年 7月28日(木) 10:00~11:30
- 講師 小出 成仁 氏(千歳市立向陽台中学校 教諭)
- 会場 石狩教育研修センター 研修室A
- 日程
- | | |
|-------------|------|
| 9:30 | 役員集合 |
| 10:00 | 開会 |
| 10:05~11:25 | 講演 |
| 11:30 | 閉会 |
- 参加者 14名

○研修会の様子



今年度は向陽台中 小出 成仁先生を講師にお招きし、「私たちの主権者教育」と題してお話をいただきました。

「主権者教育」のスタートは「自治的諸活動」＝学級の係活動や当番活動、委員会活動であり、どの学級でも行われていることが「主権者」を育てる基礎となる、というお話から始まった。

「自分で判断し、自分で考えて行動する」ことが何より重要であり、個々の考えがやがて学校にとどまらず、地域、国、世界への広い視野に広がっていくことを再確認させていただきました。今日的な情勢もお話いただき、現在の日本の政治について、また、様々な活



動についての映像も交えながらのお話で、あっという間の1時間30分であり、とても有意義な研修でした。参加された先生方からも普段の実践や日頃から考えていること、疑問に思っていることなど、たくさんの意見が出され、交流することができました。

事務局の案内が遅くなってしまい、参加者が14名と多くなかったことが大きな反省点です。たくさんの方々に聞いてもらいたい、そう感じることでできる充実した研修会となりました。

○参加された先生方の声

- 今の政治や安保法案について詳しく紹介していただき、勉強になった。
- 道徳の教育課程にある「平和教育」を必ず実施する学校になるように動こうと思います。
- 「自分で考え判断し行動する」場面を日頃からとっていきたいと考えました。
- 自分自身の知識のなさを改めて認識した。学ぶことをがんばらなければいけないと考えました。
- 自分はまだまだ勉強が足りないな、と思いました。「自分のこととして考える」ということは私たちが先頭に立って考えていくことが大切だと思いました。「小学生にできること」と考えると係活動、委員会活動などの中で「種」を植えることはできると思いました。こちら側が意識していることが大切であり、自分たちで判断、行動できることが勉強の一つなんだということを再認識させられました。「今できることを全てやる！」というスタンスを忘れず、日々平和教育、人権教育をすすめていきたいと思います。
- 昔から変わらない「子どもの成長」を大事にしてきた小出先生のメッセージが伝わりました。
- 若者たちが動いているのに、私たち大人＝主権者が行動しなければ、と思わされた。
- 憲法と戦争を否定（戦争についてしっかり教える）できる価値観を子どもたちに根付かせたい。
- 私たちが普段学校でやっていること、自治的諸活動、生徒会活動、朝の会、帰りの会など、なぜやるのか、ねらいは何なのか、それを再確認することがまず大切だということを実感しました。個人的には模擬投票なんてやらないよと思っていましたが、背中を押されたようで安心しました。他のことをがんばろうと思います。
- 「SEALDs」や「ふるえる」の若者はほんの一部でしかない。だからこそ我々の仕事大事なのだと思います。
- もっと多くの人に聞いてもらいたい、そのような内容の研修でした。
- 自分たちのことを自分で考える子どもたちを育てていかななくてはならないな、と思いました。今こそ仲間と共に憲法や平和の実践を深め、残し、つなげていかななくてはならない。若い先生にも今日学んだことを大切に、伝えていこうと思いました。ありがとうございました。
- 主権者教育と自治的諸活動の話が改めて勉強になりました。久しぶりに学校現場に戻り、子どもたちに未来の主権者として伝えていくことの重要性を考えさせられました。今の世の中、金持ちが優遇され、格差が拡大しています。自分に不利益なことをしっかり発言できる子どもたちを育てていきます。